



株式会社浅沼組

2022年3月期第1四半期決算説明会

2021年8月20日

イベント概要

[企業名]	株式会社浅沼組
[企業 ID]	1852
[イベント言語]	JPN
[イベント種類]	決算説明会
[イベント名]	2022 年 3 月期第 1 四半期決算説明会
[決算期]	2021 年度 第 1 四半期
[日程]	2021 年 8 月 20 日
[ページ数]	17
[時間]	13:30 – 13:50 (合計：20 分、登壇：15 分、質疑応答：5 分)
[開催場所]	103-0026 東京都中央区日本橋兜町 3-3 兜町平和ビル 2 階 第 2 セミナールーム (日本証券アナリスト協会主催)
[会場面積]	145 m ²
[出席人数]	
[登壇者]	4 名 代表取締役社長執行役員 浅沼 誠 (以下、浅沼) 代表取締役専務執行役員 社長室長 山腰 守夫 (以下、山腰)

サポート

日本	03-4405-3160	米国	1-800-674-8375
フリーダイヤル	0120-966-744	メールアドレス	support@scriptsasias.com

執行役員 技術研究所所長
執行役員 社長室次長

石原 誠一郎 (以下、石原)
八木 良道 (以下、八木)

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com



登壇

司会：それでは、定刻となりましたので、ただ今から、株式会社浅沼組様の 2022 年 3 月期第 1 四半期決算説明会を開催いたします。

まず最初に、同社からお迎えしております、4 名様をご紹介します。代表取締役、社長執行役員、浅沼誠様。

浅沼：浅沼です。よろしくお願いいたします。

司会：代表取締役、専務執行役員、社長室長、山腰守夫様。

山腰：山腰です。よろしくお願いいたします。

司会：執行役員、技術研究所所長、石原誠一郎様。

石原：石原です。よろしくお願いいたします。

司会：執行役員、社長室次長、八木良道様。

八木：八木です。よろしくお願いいたします。

司会：本日は、代表取締役社長、浅沼様からご説明をいただきます。ご説明いただいた後、質疑応答の時間を取らせていただきます。それでは、どうぞよろしくお願いいたします。

浅沼：ただ今ご紹介いただきました、社長の浅沼誠です。本日は、どうぞよろしくお願いいたします。

本日、弊社の 2022 年 3 月期第 1 四半期決算説明会にご出席いただきまして、誠にありがとうございます。

本日は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、説明を簡単に、ポイントのみのご説明とさせていただきますので、ご理解のほど、どうぞよろしくお願い申し上げます。

本日は、2022 年 3 月期第 1 四半期の実績と、中期 3 カ年計画の進捗についてご説明させていただきます。よろしくお願いいたします。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com



2022年3月期 連結 第1四半期の実績



(単位：億円)

主な経営指標	2021/3期			2022/3期		
	Q1実績	実績	進捗率	Q1実績	計画	進捗率
受注高	241	1,206	19.9%	287	1,321	21.7%
完成工事高	275	1,378	19.9%	291	1,390	21.0%
完成工事粗利益	21.8	135.8	16.0%	23.1	136.4	17.0%
完成工事粗利益率	7.9%	9.9%	—	7.9%	9.8%	—
営業利益	2.6	52.9	4.9%	2.1	53.4	3.9%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1.6	41.4	4.0%	1.3	41.7	3.2%
配当 (配当性向)	—	257円 (50.0%)	—	—	260円 (50.2%)	—

3

まず、3 ページをご覧ください。こちらにあります表、青色の部分になりますが、前期と今期の第1 四半期の実績。緑色の部分は、前期の通期実績と今期の通期計画。そして黄色の部分は、おのこの進捗率を記載させていただいております。

表の上段からご説明させていただきます。受注につきましては、今期第1 四半期実績は、前年同期比で46 億円増加し、進捗率も若干上回りました。新型コロナの影響はまだ不透明ではありますが、手持ちの案件状況から見て、通期の計画達成は十分可能だと考えております。

次に、完成工事高は16 億円増加。完成工事粗利益は1.3 億円増加し、進捗率も若干上回りました。また、完成工事粗利益率は同レベルとなりました。現在の手持ち工事の利益は堅調に推移しており、通期計画達成には問題ございません。

営業利益は、販管費であるシステム投資に伴う減価償却費が増加したため、0.5 億円の減少。当期利益は0.3 億円減少し、進捗率も若干下回りました。先ほど申し上げましたとおり、手持ち工事の利益は堅調に推移しており、販管費の増加をカバーできる水準にあるため、通期計画達成には問題はないと考えております。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com



今期の通期計画は、受注については115億円増加。完成工事高と利益についてはほぼ前期並み。配当は配当性向50%の260円としていますが、いずれも達成できるものと確信しております。

個別受注の現況



(単位：百万円)

			2021/3期 1Q		2022/3期 1Q			
			実績	構成比	実績	構成比	前期比	
建土官民別	建築	官庁	5,998	27.4%	4,777	18.9%	△1,220	
		民間	15,925	72.6%	20,492	81.1%	4,567	
			21,923	100.0%	25,270	100.0%	3,346	
	土木	官庁	693	39.9%	2,349	69.5%	1,655	
		民間	1,045	60.1%	1,030	30.5%	△15	
			1,739	100.0%	3,379	100.0%	1,640	
官庁		6,692	28.3%	7,127	24.9%	434		
民間		16,970	71.7%	21,523	75.1%	4,552		
合計			23,663	100.0%	28,650	100.0%	4,987	
用途別	建築	工場・倉庫	1,602	7.3%	10,609	42.0%	9,006	
		住宅	3,422	15.6%	5,197	20.6%	1,775	
		教育研究	3,045	13.9%	3,888	15.4%	842	
		その他	8,429	38.5%	611	2.4%	△7,815	
		リニューアル	5,422	24.7%	4,962	19.6%	△460	
			21,923	100.0%	25,270	100.0%	3,346	
	土木	治山治水	9	0.5%	521	15.4%	512	
		鉄道	173	10.0%	611	18.1%	437	
		道路	333	19.2%	583	17.3%	249	
		その他	989	56.9%	987	29.2%	0	
		リニューアル	232	13.4%	674	20.0%	441	
			1,739	100.0%	3,379	100.0%	1,640	
	合計			23,663		28,650		4,987
	参考 2021年6月末時点の案件金額							
個別通期計画		要受注高		案件金額				
1,300億円		1,013億円		4,802億円				

4

続きまして、4ページをご覧ください。連結の受注については、第1四半期時点で前年同期比46億円増加し、通期で前期比115億円増加の計画は十分達成可能だと先ほど申し上げましたが、新型コロナウイルスの影響を最も受けるのは受注ですので、その現況についてご説明させていただきます。

個別の今期第1四半期実績は、前年同期比で表の上段にあります、建土官民別の表にありますように、建築の官庁の受注は減少しましたが、建築の民間と土木の官庁の受注が増加いたしました。また、その下の用途別の表にありますように、建築では工場・倉庫、土木では河川補修が増加いたしました。

確かに受注環境は、新型コロナ以前に比べ厳しくなってきましたが、提案営業に注力し、利益が確保できる案件に絞った受注営業を続けており、一番下、欄外にありますように、通期計画達成が可能な案件の積み上げ状況と、現在となっております。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com



— 基本方針 — 浅沼組らしさ(独自性)を深耕させ 「変化に挑戦」

外部環境変化 への挑戦	★	長期的に縮小する国内建設投資とインフラ・建築構造物の老朽化により堅調に推移する国内維持・修繕事業投資
		1. 積算・施工部門によるコストデータの蓄積・活用の拡充等 2. ASEAN地域におけるリニューアル事業への取り組み強化継続等 3. 『ReQuality』リニューアルブランド戦略の推進等
	★	建設分野における生産労働人口の減少
		1. 独自技術である「Ai-MAP SYSTEM」の高度化等 2. 女性社員・外国人社員の採用強化等 3. 建設キャリアアップシステムの推進拡充等
	★	非財務経営活動(ESG・SDGs等)による企業評価向上の機運
		1. 「E」：エコフレンドリーASANUMA21の推進等 2. 「S」：『ReQuality』の一環でWELL認証の取得等 3. 「G」：政策保有株式の削減継続等

5

次に、5ページをご覧ください。こちらでは、中期3カ年計画の施策についてご説明させていただきます。

今期から始まる中期3カ年計画においては、表にありますように、さまざまな変化の中から、特に三つの外部環境の変化に注力して対応するために、いくつかの施策に取り組むことになっております。

一つ目、一番上になりますが、一つ目の変化としましては、長期的に縮小する国内建設投資と、インフラ・建築構造物の老朽化により、堅調に推移する国内維持・修繕事業投資です。

二つ目は、中段にあります。建設分野における生産労働人口の減少です。

三つ目は、一番下段になりますが、非財務経営活動、ESG・SDGs等による企業評価向上の機運です。

この三つの大きな変化に対応するための施策の中で、第1四半期に進捗のあった主なものについて、次にご説明させていただきます。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

タイにおける老朽化高速道路・橋梁のメンテナンス事業への取り組み

現地法人設立

①	名 称	Thai Asanuma Holdings Co.,Ltd.
	事 業 内 容	持株会社
	設 立	2021年 6 月
②	名 称	Thai Asanuma Construction Co.,Ltd.
	事 業 内 容	リニューアル事業
	設 立	2021年 7 月

設立の目的

- ・タイにて炭素繊維シートを使用し、老朽化した高速道路や橋梁のメンテナンス事業を開始
- ・近年タイにおける公共インフラ投資は著しく成長し、それに伴うメンテナンスの需要が増加

目標

**2023年度にASEANのリニューアル事業の営業利益を
連結営業利益の10%に**

6

6 ページをご覧ください。こちらでは、ASEAN 地域におけるリニューアル事業への取り組みの強化についてご説明させていただきます。

タイにおいて炭素繊維を使用し、老朽化した高速道路や橋梁の補修工事を業とする子会社を、このたび設立いたしました。

シンガポールでの外壁塗装を業とする子会社が現在ありますが、引き続き、リニューアル事業に絞って ASEAN 地域で展開し、中期 3 カ年計画の最終年度には、ASEAN 地域におけるリニューアル事業の営業利益を、連結営業利益の 10%にしたいと考えております。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

内 容	特 徴	効 果
技能動作解析	GPSカメラやセンサを熟練技術者に取り付け、動画撮影により、動作・行動・音声をデータ化し分析	技能伝承
インフラ通信管理	通信システムの活用による遠隔地から現場の生産管理を実施	生産性向上
(新機能) 情報共有管理	外部とのシステム接続による施主や監督官庁等との情報共有が可能	生産性向上
事業化への取り組み		
現在事業化へ向けた地方の建設会社からのニーズ調査と事業計画策定に着手		

続きまして、7ページをご覧ください。こちらでは、独自技術であります Ai-MAP SYSTEM の高度化について、ご説明させていただきます。

弊社の独自技術であります、Ai-MAP SYSTEM の高度化についてですが、このシステムの機能には、従来、表の上段にあります。熟練技術者の技能動作解析と、遠隔地からの現場管理を可能とするインフラ通信機能、この二つがありました。

今回、施主や監督官庁等の外部との間で、現場情報の共有を可能とする、情報共有管理の機能を追加し、さらなる生産性向上につなげたいと考えております。

また、このシステムの販売事業化に向け、地方の建設会社のニーズ調査と、そのニーズに見合った事業計画策定に着手いたしました。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

長期CO₂削減目標

「施工高1億円当たりのCO₂排出量を1990年度比で
2030年度までに50%、2050年度までに70%削減」



8

それでは、次に8ページをご覧ください。こちらでは、エコフレンドリー-ASANUMA21の推進について、ご説明させていただきます。

長期CO₂削減目標を、施工高1億円当たりのCO₂排出量を1990年度比で、2030年度までに50%、2050年度までに70%削減としていますが、2020年度の結果がこのたび出ましたので、ここでご説明させていただきます。

2020年度の目標は、1990年度比40%削減としておりましたが、各作業所がCO₂削減のため、手順書に沿って着実に作業を進めた結果、44.6%の削減となり、目標を達成することができました。

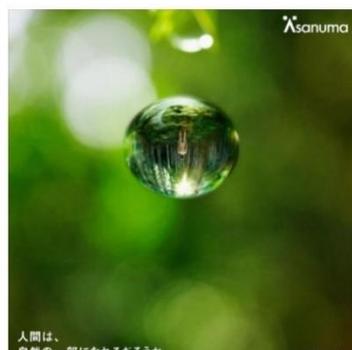
現在、削減効果のさらなる向上のために、手順書の見直しをしており、必ず目標を達成したいと考えております。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

2021年4月2日 日本経済新聞に掲載

「人間は、自然の一部になれるだろうか」



人間は、自然の一部になれるだろうか



GOOD CYCLE PROJECT



改修前



改修後



1F エントランス



各階のテラス

9月から名古屋支店をショールーム化

リニューアル工事の特徴（脱炭素と資源の循環）

- ・WELL認証（健康・快適性を基準に建物を評価）の取得申請中
予備認証取得済み
- ・築30年のビル全体をリニューアルし、正式認証を受けるのは**日本初**
- ・ZEBready認証取得予定（改修前にくらべエネルギー量を**50%削減**）

目標

2023年度に国内のリニューアル事業の営業利益を連結営業利益の25%に

続きまして、9ページをご覧ください。こちらでは、新しいリニューアルブランド、ReQualityの一環でWELL認証の取得、こちらを説明させていただきます。

新しいリニューアルブランド、ReQualityを、4月2日の日経新聞への広告を契機にスタートさせました。そのコンセプトに沿って、リニューアルしている弊社名古屋支店を、9月からショールームとして活用してまいります。

名古屋支店のリニューアルに当たっては、健康・快適性を基準に建物を評価するWELL認証について、現在予備認証は取得済みですが、今後、正式認証を取得する予定をしております。築30年のビル全体をリニューアルし、認証を受けるのは、日本で初めてとなります。

また、リニューアルによってエネルギー量を50%削減する、ZEBreadyも、今後正式認証を取得する予定をしております。ReQualityの受注営業も開始いたしました。中期3カ年計画の最終年度には、国内リニューアル事業の営業利益を、連結営業利益の25%にしたいと考えております。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

- ・ 政策保有株式としての上場株式残高 2021年3月末 55.6億円
- ・ 上場株式の保有適否判断基準
配当と工事粗利益の便益が「株主資本コスト」を下回る場合に縮減
売却実績 2018～2020年度 合計30.9億円
連結純資産比率 2018年3月期末 23.4% ⇒ 2021年3月期末 13.3%へ縮減
- ・ 2021年3月末保有株式 便益 20.1% > 株主資本コスト 7.95%

目標

2022年3月末までに政策保有株式の残高を連結純資産の10%未満に

次に、10 ページをご覧ください。こちらでは、政策保有株式の削減についてご説明させていただきます。

政策保有株式として、上場株式を 2021 年 3 月末で 55.6 億円、弊社としては所有しておりますが、配当と工事粗利益の便益が株主資本コストを下回る銘柄を、今まで縮減してきました。

2021 年 3 月末時点で、全体の便益は 20.1%ですが、個別で便益が株主資本コストを下回る銘柄があり、それを今期縮減し、残高を 2022 年 3 月末までに、連結純資産の 10%未満にいたします。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

取締役会の構成	<ul style="list-style-type: none"> ・取締役会人数 9名 ・社外取締役の割合 1/3 ・うち女性社外取締役 1名
監査役会の構成	<ul style="list-style-type: none"> ・監査役会人数 4名 ・社外監査役の割合 3/4 ・うち女性社外監査役 1名
株式報酬制度	<ul style="list-style-type: none"> ・譲渡制限付株式報酬制度の導入
プライム市場を選択	<ul style="list-style-type: none"> ・新市場区分における「プライム市場」の上場維持基準への適合確認 ・8月5日の取締役会にて、「プライム市場」の選択を決議 ・コーポレートガバナンス・コード改訂に伴う対応推進

次に、11 ページをご覧ください。ここでは、コーポレート・ガバナンス等についてご説明させていただきます。

コーポレート・ガバナンス関連につきましては、表にもありますように、先の株主総会で取締役の3分の1を社外、監査役の4分の3を社外という体制に加え、譲渡制限付株式報酬制度の導入が承認されました。

また、表の下段にありますように、プライム市場上場申請をする旨を、先般の取締役会で決議いたしました。これから、その手続きに入らせていただきます。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

2021/4/3	エコフレンドリーASANUMA21
2021/4/7	循環型プロジェクト「ReQuality」始動
2021/5/21	タイに新会社設立

浅沼組、CO₂を7割削減へ
 浅沼組は2050年度までに施工高1億円当たりの二酸化炭素(CO₂)排出量を1990年度比で7割削減する目標を掲げた中期経営計画を策定した。20年度までに同4割削減を達成しており、政府の温暖化ガス排出を50年までに実質ゼロを目指す目標に向け重点的に取り組む。建設工事で生じる汚泥やコンクリートからの再生利用や生態系の保護などの方針も採り入れた。

2021/4/3 日本経済新聞社

循環型プロジェクトスタート
CFや名古屋支店改修を展開

浅沼組は、循環型プロジェクト「GOOD Cycle Project」を自らの拠点となるアサヌマホールディング(C)・リニューアル事業(名古屋支店)・リニューアル事業(オウンドレア)開始の4つのアクションを展開する。同社は、建設業における環境への責任を真摯(しんしん)に受け止める。人間にも地球にも良い循環をつくるため、リニューアル事業(オウンドレア)の「リニューアル」を立ち上げる。このコンセプトを「リニューアルプロジェクト」の4つのアクションを通じて社会に発信する。

名古屋支店リニューアルでは、多岐用途のリニューアルで発生した建築廃材を再利用した。CFや名古屋支店改修を展開する中で、自然素材の活用も行う。リニューアル事業では、再生材の活用も行う。CFや名古屋支店改修を展開する中で、自然素材の活用も行う。リニューアル事業では、再生材の活用も行う。CFや名古屋支店改修を展開する中で、自然素材の活用も行う。

2021/4/7 日刊建設通信新聞社

タイに新会社設立
炭素繊維で構造物メンテ

浅沼組は、タイに炭素繊維シートを用いた老朽化した高層ビルや橋梁などのメンテナンス事業を行う新会社「タイメンテ」を設立する。20日に開いた取締役会で決定した。新会社は持株会社の「タイメンテ」が100%出資する。事業会社の「タイメンテ」は500万円、約1750万円、浅沼組が49%、持株会社は51%出資する。新会社設立による連結業績への影響は軽微という。

2021/5/21 日刊建設通信新聞社

次に、12 ページをご覧ください。こちらは最後になりますが、今まで申し上げた施策の取り組みを掲載していただいた記事を紹介しております。

左の記事は、エコフレンドリーASANUMA21 について。真ん中の記事は、リニューアル事業の ReQuality について。そして右の記事については、タイにおけるリニューアル事業の、現地法人の設立について取り上げられたものとなっております。

非常に簡単ではございますが、私からのご説明は以上になります。どうもご清聴ありがとうございました。

質疑応答

司会：ありがとうございました。それでは、質疑応答に入らせていただきます。

なお、この IR ミーティングは、質疑応答部分も含め全文を書き起こして公開する予定です。従いまして、質問をされる際、会社名、氏名を名乗っていただいた場合は、そのまま公開されます。もし匿名を希望される場合は、氏名は省略していただいて結構です。それでは、どうぞよろしくお願いいたします。

ナガオカ：ストラテジックキャピタルのナガオカと申します。3点質問がございます。

まず1点目になります。当社は経営指標として、リニューアル事業の受注高、売上高、そして営業利益を開示しているわけでありませぬ。しかし、四半期ベースでは、営業利益が開示されておられません。従いまして、リニューアル事業が計画どおりに進捗しているのかどうかといった点が、評価できないこととなります。四半期でもリニューアル事業の営業利益を開示していただきたいと考えておりますが、こちらに対して、どのようにお考えでしょうか。

山腰：今回、まだ開示できていませんが、期末までには当然リニューアル事業の営業利益も計画値をうたっておりますので、開示したいと考えております。

以上です。

ナガオカ：分かりました。2点目になります。当社は協力会社との連携強化のために、支払条件の改善、具体的には支払の現金化を行っておりますが、こちらは ESG の観点から申し上げますと、ソーシャルファクターの取り組みの一つになります。当社は協力会社に対して、いわゆる目安箱を設置しておりますが、協力会社との連携が実際に強化されているのかどうかといった点について、労働環境がまた改善しているのかについても、定点観測をさせていただきたいと考えております。

そういった観点から、例えば当社が毎年公表しております CSR 報告書に、協力会社からの苦情件数であるとか、協力会社における労災件数を公表していただきたいと考えているのですが、こちらに対して、いかがお考えでしょうか。

山腰：今おっしゃった CSR 報告書は、今、準備中でございます。今の点も踏まえて、作成をしていきたいと思っております。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com



ナガオカ：分かりました。最後の3点目になります。当社は、プライム市場を選択する取締役会決議をしたというプレスリリースを、先日公表されていまして。コーポレートガバナンス・コード原則の3-1-3になりますが、こちらでは、プライム市場の上場会社に対して気候変動リスクの開示を求めています。気温が上昇することによる当社の業績へのインパクトであるとか、また、それをどのように分析するといったところを、現状の考え方を教えていただけますでしょうか。

山腰：今おっしゃった気候変動に対するリスク、加えて、多様な人材確保等々に関する方針につきましては、現在、どうすべきかについて検討しております。今年の12月のコーポレートガバナンス・コード報告書に、検討した結果、あるいはその検討したことをどう具体的に実行するのか等について、記載したいと考えております。

以上です。

ナガオカ：分かりました。私からは以上になります。

司会：ありがとうございました。続いてのご質問をどうぞ。よろしいでしょうか。特にないようございます。会社様から、もし何か追加事項がございましたら、いかがでしょうか。よろしいですか。分かりました。

それでは、以上をもちまして、本日の説明会を終了いたします。どうもありがとうございました。

[了]

脚注

1. 音声不明瞭な箇所については[音声不明瞭]と記載

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com



免責事項

本資料で提供されるコンテンツの信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性等について、当社は一切の瑕疵担保責任及び保証責任を負いません。さらに、利用者が当社から直接又は間接に本サービスに関する情報を得た場合であっても、当社は利用者に対し本規約において規定されている内容を超えて如何なる保証も行うものではありません。

本資料または当社及びデータソース先の商標、商号は、当社との個別の書面契約なしでは、いかなる投資商品（価格、リターン、パフォーマンスが、本サービスに基づいている、または連動している投資商品、例えば金融派生商品、仕組商品、投資信託、投資資産等）の情報配信・取引・販売促進・広告宣伝に関連して使用してはなりません。

本資料を通じて利用者に提供された情報は、投資に関するアドバイスまたは証券売買の勧誘を目的としておりません。本資料を利用した利用者による一切の行為は、すべて会員自身の責任で行っていただきます。かかる利用及び行為の結果についても、利用者自身が責任を負うものとします。

本資料に関連して利用者が被った損害、損失、費用、並びに、本資料の提供の中断、停止、利用不能、変更及び当社による本規約に基づく利用者の情報の削除、利用者の登録の取消し等に関連して会員が被った損害、損失、費用につき、当社及びデータソース先は賠償又は補償する責任を一切負わないものとします。なお、本項における「損害、損失、費用」には、直接的損害及び通常損害のみならず、逸失利益、事業機会の喪失、データの喪失、事業の中断、その他間接的、特別的、派生的若しくは付随的損害の全てを意味します。

本資料に含まれる全ての著作権等の知的財産権は、特に明示された場合を除いて、当社に帰属します。また、本資料において特に明示された場合を除いて、事前の同意なく、これら著作物等の全部又は一部について、複製、送信、表示、実施、配布（有料・無料を問いません）、ライセンスの付与、変更、事後の使用を目的としての保存、その他の使用をすることはできません。

本資料のコンテンツは、当社によって編集されている可能性があります。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

